

高校から「真和」を選択する皆さんへ Design for 3-year-learning

自分のキャリアをどのように描くか、そのための高校時代の3年間をどのように計画して、学び、暮らしていくか、家庭や学校生活をフィールドにして、自分自身の成長を描いてみる。いわば3年間の自分の学びをデザインしていく。そのためのあらゆるサポートを行う仕組みが真和には整っています。

高校としては比較的小規模の真和は、小規模だからこそ皆さんを様々な形で支えていくことができます。疑問にいつでも答えたり、不安に寄り添ったりすることができます。それも皆さんの3年間の学びを充実した形でデザインしていくためののです。

独自の教育課程

高等学校は、学習指導要領に示された必修科目や卒業に必要な単位数など基本的な事柄を基にして、それぞれの学校の特色や状況に応じて独自の教育課程を組んでいます。真和高校も、生徒の進路希望の方向性を基盤にして、それらを最大限実現できるように教育課程を独自に作っています。

たとえば、全国の公立高校普通科の約85%が卒業に必要な単位数を74単位～94単位に設定していますが、真和高校では表のように112単位を設定しています。どの科目もじっくりとしっかり身につけて卒業・進学する、あるいは得意な科目を幅広く学ぶなど、生徒一人一人の学びのデザインができるように工夫しています。

高校1年次

基礎学力をつけ、今後の自己の進路をじっくりと考えていきます。そのうえで、日々の教室での学びだけでなくとどまらず、多様なフィールドで展開する学習プログラムや、ボランティア活動などに積極的に参加できるように配慮しています。体系的な学びを縦糸とし、多様な学びや経験を横糸として、他者と協働しながらより深い学びを実現していき、基礎学力に広さと深さを与えていきます。

国語	実用的な文章をはじめ多様なテーマの文章読解に取り組みとともに表現力の向上を図ります。古文・漢文の基礎事項を習得します。
社会	歴史総合と地理総合を履修します。次年度の探究科目選択を意図しながら、基礎的内容の理解と、諸問題の捉え方を学びます。
数学	高校数学の基本にじっくり取り組み、数学的な感覚の基礎を育てます。数学Ⅰ・Aおよび数学Ⅱの内容まで学習を進めます。
理科	理科の各科目にじっくり、かつ深く取り組みます。
英語	Reading…長文を読み、内容を英語でまとめることができるようになります。 Writing…基本的な文法をマスターし活用できるようにします。 英語運用…英語でのプレゼンテーションを行います。

学年	2			3			3		
	文	理	理	国文	私文	理	理	理	
国語	5	7	5	7	7	5			
歴史公民	4	4	4	8	8	4			
数学	7	7	7	5		8			
理科	6	4	6	4		8			
保健体育	3	4	4	2	2	2			
芸術	2								
外国語	6	7	7	8	8	7			
家庭	1	1	1						
情報	2	2	2			2			
総合学習	2	1	1	2	2	2			
演習						7			
H	R	1	1	1	1	1	1	1	
計	37	38	38	37	37	37			

※公立高校普通科の約85%が卒業に必要な単位数を3年間で74～94単位に設定。
〔文科省「平成27年度公立高等学校における教育課程の編成・実施状況調査の結果について」より〕

生徒と教師の距離が近い学校

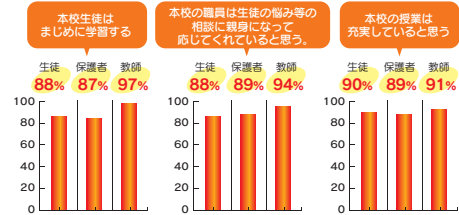
本校では、教師一人あたりが受け持つ生徒数は、14.6人です。熊本県教育委員会の調べ(下表)では、熊本市内の県立4校(普通科)では、17.09人、熊本市内の私立5校でも、17.07人となっており、本校は一人の教師が対応する生徒数とは少ない人数になっています。これは生徒に対する向き合い方がとても丁寧で、より細やかな対応が可能であることを示しています。それは、次の学校評価の結果にも明確に表れていると言えます。

	生徒数	教員数	教師一人あたりの生徒数
市内の県立4校	4750人	278人	17.09人
市内の私立5校	4558人	267人	17.07人
合計	9308人	545人	17.08人
真和	511人	35人	14.6人

令和4年度(2022年度)教育資料集学校一覧 熊本県教育庁教育政策課より/教師の数は常勤者のみ

学校評価から見える充実した学校生活

このような本校の特色をいかした多様な教育環境やその実践は、様々な形でその成果が表れています。その一つが、毎年実施している学校評価のアンケートの結果です。



※「そう思う」「ややそう思う」を合計したものである。

高校2年次

進路をより具体的に描きながらも、一方で可能性を広げるために、より深く確実に学びを深めていきます。1年時から引き続いて学校内外を問わず様々な学習プログラム等に参加し、自己の持つ知識に具体性と経験値を持たせていくことで、多様な課題に向かつて最適解を提唱できる力を身につけていきます。高校3年間で最も多様に富む経験ができる学年かもしれません。

国語	1年次に引き続き、文章読解に取り組みとともに、表現力の向上を図ります。大学入試に必要な古文漢文の知識の習得を終え、入試に向けてより深い内容に取り組みます。
社会	文系理系ともに公共を履修し、地理探究、日本史探究、世界史探究から1科目選択します。各科目とも大学入試科目にすることを意識して、いねいに取り組みます。
数学	高1からの学習内容をさらに進め、文系理系のそれぞれの大学入試に必要な数学の応用力を養成します。 理系…数学Ⅱ・B・Cの範囲まで学習を進めます。 文系…数学Ⅱ・B・Cの必要な内容を終了します。
理科	理系…物理、化学、生物の各教科をより深く学びます。 文系…各科目の基礎的内容の習熟を図り、大学入試演習にも取り組みます。
英語	Reading…発展的なレベルの長文を読み、自分の意見を英語でまとめることができるようになります。 Writing…標準的な文法をマスターしまとまりのある英文が書けるようになります。 英語運用…英語でディベートができるようになります。

図からも分かりますように、「本校生徒は真面目に学習する」「教師は親身になって生徒の悩みの相談に応じる」「本校の授業は充実している」など、学校生活の根幹をなすような内容については、生徒も保護者も教師もすべて87%以上の高い結果になっています。

中学生のよきモデルになる真和高校生

本校に入学すると、真和中学生がいるため、高校1年生の頃から、上級生としての行動を求められます。上級生と下級生と一緒に活動する部活動や生徒会活動、体育祭、文化祭などを通じて、上級生から下級生に対する思いやりの心、上級生・下級生の規範意識、下級生から上級生に対する尊敬の気持ちなどの醸成が期待されます。幅広い世代との交流による精神的な発達や社会性の育成、これが真和高校の伝統の一つです。



高校3年次

進路を確定し、学習を確実に深めていきます。多くの大学が面接や志望理由書の内容を重視しつつある中で、自己の「学びをデザインする」という概念で進路を考えてきた皆さんは、新しい入試制度にも自信を持って対応できます。

そして、どんな時でも迷ったら周囲の先生方が皆さんをサポートできる体制が整っています。長年の進路実績に基づいた確かな進路指導が皆さんを支えます。真和高校そのものが皆さんにとっての支援システムなのです。

国語	夏以降は、大学入試に向けた演習を徹底します。
社会	理系…各探究科目及び公民演習から1科目を選択し、共通テストに向け、学力の定着・伸長を図ります。 文系…各探究から1科目を選択し、公民演習とともに共通テスト、個別試験両方に対応できる実力を養成します。
数学	理系…数Ⅲまでの内容を早期に終了し、理系大学の入試問題の演習を中心に、理系大学合格に必要な数学力を養成します。 文系…大学入試問題の演習を中心に学習を進め、文系大学への合格に必要な数学力を養成します。
理科	理系…夏頃までに履修を終え、大学入試に向けた演習に徹底的に取り組みます。 文系…大学入試演習を徹底し、一部は実験実習も行い、学力の定着を図ります。
英語	発展的でバランスの取れた総合的な英語力身につけ、自分めざす大学の入試に対応することができるようにします。

Design for 3-year-learning

企業研修

4泊5日に及ぶ修学旅行のメインイベントとも言える企業研修。グループに分かれて、目指す企業に生徒自身がアポイントを取ることから始まります。



東大とタイアップした時習館講座の開催

熊本県が主催して行われる高校生向けの特別講座の「時習館講座」。ここ数年は東大とタイアップして行われていますが、毎年会場は真和高校で実施されています。今年も東京大学工学部の先生方が来校され、現在の最新の研究内容を丁寧に解説していただきました。生徒達も食い入るように話を聞き、また質問もしていました。探究する心はこういう所でも培われていっています。



卒業生が体験を伝える「夢リレー」

大学入試に合格した先輩方を、大学生活がスタートする前に学校に招き、後輩たちに思いを伝える教育プログラムが本校の伝統行事である「夢リレー」です。これは講演会ではなく、小グループに分かれて、その場で質問をしたり、直接アドバイスを受けたりすることができ、真和の伝統行事です。進路目標を達成したばかりの先輩方から激励してもらえることと例年好評です。



志校塾特別講義

ハイレベルな国語の読解問題攻略のコツや、論理的な文章の読み方を具体的に解説してもらえるプログラムがこの講義です。扱うジャンルは現代文から古典まで幅広く、参加者の疑問を解消してくれるプロの講義で、希望者は誰でも受講することができます。



真和で過ごす

STORY



堤 さん
高校 1年 龍田中学校出身

入学する前、私は新しく始める学校生活に不安を抱いていました。しかし、入学してみると、不安はなくなり、すぐに学校に慣れることができました。真和高校の先生方は、それぞれに合った学習法や、一人ひとりの分からないところを丁寧に教えてくださります。授業中も、質問しやすい環境を作ってください、一コマコマが充実していると感じています。毎日の予習、週テストに向けての復習が必要で、大変だとも思いますが、施設の綺麗さ、学校全体で楽しむ学校行事などが多くなり、積極的な姿勢で学習に取り組んでいます。

また、私は野球部に所属しています。勉強と部活を両立させたうえで、野球についてもアドバイスしあえる先輩方や同級生に恵まれ、日々の練習を頑張っています。

真和では毎日、多くのことを学べます。真和に来て、学びをもっと深めませんか。



大野 さん
高校 1年 出水南中学校出身

夢の実現に向けて

私は真和高校に入学して1か月と数週という短い期間しか経っていませんが、毎日がとても充実しています。真和高校は大学入試を意識したレベルの高い授業、わからない問題をわかるまで丁寧に教えて下さる先生方、お互いを刺激しながら高めあえる級友など、素晴らしい学習環境が整っています。この他にも、私立ならではの先生方も、施設の綺麗さ、学校全体で楽しむ学校行事など、沢山の魅力があります。私は、その環境の中に身を置いて現役合格を目指して日々努力を重ねています。真和高校は自分の夢と真剣に向き合える学校です。是非一緒に素晴らしい青春を送りましょう！



坂田 さん
高校 2年 小国中学校出身

私が真和を選んだ大きな理由は、医学部の合格実績の高さと、寮があったことです。濃厚な校風が自分に合っていると聞いたのも、理由の1つです。実際に真和に入学してみてよかったと思っています。特別講義の先生方から学習法を学ぶことで、自らの学習を改善することができます。また、個性的、かつ優秀な友人たちから刺激を受け、力を伸ばせる実感があります。信頼できる先生方のご指導の他にも、奨学金制度や隔週の土曜日授業、スタディサプリの活用など、勉強に対するサポートも充実しており、より効率的な学習ができます。真和は力をつけて日々努力を重ねています。真和高校は自分の夢と真剣に向き合える学校です。将来を見据えて勉強に取り組みたい、ステップアップしたいと思っている方、ぜひ真和と一緒に頑張らしましょう！



矢野 さん
高校 2年 熊本大学附属中学校出身

真和高等学校は天然人によって開かれた浄土宗の宗門学校で、仏教精神を基盤にしています。宗教と聞いて、少し暗い学校かと思う人もいますが、そんなことはなく、それぞれが目標に向かい、楽しい高校生活を送っています。

真和高校は目標に向かって努力すれば、先生方も厚くサポートをしてくださったり、身近にいる友人と切磋琢磨したりと、自分を磨くことができます。また、体育祭や文化祭など学校行事では、みんなが一つひとつの行事に必死になり、思いっきり楽しむので、普段見えない一面を見て驚くとともに、さらに絆が深まります。

和を重んじる真和高校ですが、みんなとともに研鑽し合うことで、さらに強固な和を築いていくことができます。僕達と一緒に、充実し、高めあえる学校生活を送ってませんか。



鍋島 さん
高校 3年 西合志南中学校出身

頑張っているのに結果が悪い通りにならず、落ち込むことはないですか。努力が報われる勉強をしたいと思いませんか。努力を結果に結び付けるには、苦手教科への対策が欠かせません。解けない問題にいかに向き合うか、学習の過程でつまづいた際にどう解決するかが大切だと私は考えます。真和高校には、生徒の疑問に真摯に向き合ってくれる先生やクラスメートたちがいます。学習する中で生まれた疑問を確実に理解につなげられる環境が真和高校の強みです。真和高校は、部活動や校外活動も充実しています。英語ディベート部で全国大会に出場したことは、私にとって全国のトップレベルを知る、とても刺激的で貴重な経験となりました。

真和高校は、皆さんのポテンシャルを最大限に引き出してくれるはず。皆さんの夢や目標が、ご自身の努力と真和高校での学びを通して、実現できることを願っています。



吉野 さん
高校 3年 精中学校出身

複雑な思いを抱きながら入学し、3年生になった今、私は真和高校に来てよかったと心から思っています。

学校生活を共にする仲間はとても温かく、また、真和高校は個性豊かな先生方が多く、質の高い授業を提供してくださります。学問への興味関心をそめるような授業展開で、授業を受けるのが日々楽しみです。勉強以外の面でも多くの学びの機会が与えられ、ビジネスグランプリでは現代社会の課題について知識を深めることができました。

真和高校には充実した学習環境や自分の将来に向けてサポートして下さる先生方がそろっています。みなさんも真和で有意義な学校生活を送ってませんか。



年間行事	4月	始業式 第1回実力考査(2・3年) 入学式 対面式 1年生オリエンテーション スポーツテスト・身体測定 体育祭	7月	期末考査 孟蘭盆会 スポーツ大会 寮保護者会 オープンスクール 終業式 三者面談	10月	創立記念日 強歩会(金峰山)	1月	冬期特別課外(3年) 始業式 第3回実力考査 大学入学共通テスト 特別課外開始(3年) 修学旅行(1年) 御忌(法然上人御命日) 高校専願・奨学生入試
	5月	育友会総会 中間考査 善導寺研修(1年)	8月	夏期特別課外(3年) 東大特別講話	11月	進路講演会(2年) 寮保護者会 第2回入試説明会 期末考査 芸術鑑賞	2月	学年末考査 国立大学前期試験 高校一般生入試
	6月	高校総体・総文祭 進路講演会(1・3年)	9月	始業式 第2回実力考査 文化祭 第1回入試説明会 中間考査	12月	スポーツ大会 終業式 冬期課外	3月	卒業式 スポーツ大会 夢リレー 高校入学者説明会 終業式

令和4年度の修学旅行は、北海道・東京・金沢の3コースから選択して行きました。



東京コース

北海道コース

金沢コース

自分を伸ばす!!

「真和高校でよかった」と思える軌跡をわたしたちとデザインしよう

自分を変える!!

高校での学費について

入学時納入金
110,000円
(入学金70,000円・施設充実費40,000円)

毎月の校納金
48,000円
(授業料・課外費など経費を含む)

※高校の授業料については国の規程に従って、就学支援金制度の適用があります。
 ※姉妹兄弟が学園に在籍する場合は、校納金のうち、姉または兄に一部免除があります。
 ※真和中学から真和高校入学時の入学時納入金はありません。

意欲的に取り組む生徒のために手厚い支援制度を用意しました。

奨学生A

- 奨学金500,000円(年額)を給付
- 入学金70,000円と施設充実費40,000円を免除
- ★さらに学寮に入寮の場合…
入寮費…100,000円全額免除
寮費…30,000円を免除(月額57,000円のうち)

奨学生B

- 奨学金300,000円(年額)を給付
- 入学金70,000円と施設充実費40,000円を免除
- ★さらに学寮に入寮の場合…
入寮費…100,000円全額免除
寮費…30,000円を免除(月額57,000円のうち)

奨学生C

- 施設充実費40,000円を免除

専願生

- 入学金70,000円を免除 ※成績優秀者は、奨学生AまたはBの特典が付与される場合があります。

〈支援制度の比較〉

	奨学生A	奨学生B	奨学生C	専願生
入学金……	免除	免除	70,000	免除
施設充実費……	免除	免除	免除	40,000
奨学金	500,000円×1年間	300,000円×1年間	———	———

なお、学年が上がるととき奨学生A、B対象者は増える傾向にあります。受給資格は年度ごとに検討されます。この他にも浄土宗奨学生、杏葉会(同窓会)奨学生等の育英制度があります。

入学試験日

奨学生・専願生

令和6年 1月23日(火)

国語 数学 英語 社会 理科

一般

令和6年 2月14日(水)

国語 数学 英語 社会 理科



毎年バックダンスで行います。
真和語の生徒たちが
思いっけりはげす
一日です!!